

---

# 災害時ICT研究会

2006年9月

特定非営利法人  
ASPインダストリ・コンソーシアムジャパン

---

# 調査研究まとめの骨子(目次案)

## 研究会まとめの骨子(目次案)

研究会の趣旨	研究テーマ・目的 研究・検討の成果について 進め方の流れ	災害時に必要な情報通信基盤のあり方 成果の発表と対策促進への社会貢献 進め方の整理
災害対策における一般的な課題	災害対策における課題の整理 地方自治体において求められる取り組み	一般的な課題点 災害時の時間の考え方 対象の整理(情報と対象者等の分け方を整理)
災害時に必要な情報	災害対策における情報の流れと関連する担当部門の整理	災害時における必要情報の整理
情報システムの現状	災害活動を支援する情報システム一覧(流通しているシステム郡)	システム・インフラ一覧表 (各社より情報提供)
情報と活用するシステムの関連性の整理と課題	必要な情報に対し、現在流通している情報システムの分布図(システムのマッピング)	システムマッピング図 取り組み範囲のグループ化
	情報分野における課題	課題点の抽出・課題点整理
自治体にとり対策が必要な仕組みと実現のための方策	基盤(インフラ・コンテンツ・システム機能他)	具体的な取り組み内容・解決策(例示)
	推進のための方策と影響する阻害要因(今後解決すべき課題)	体制と取り組み時の課題(障害)

# 災害情報基盤システムマッピング図

サービス形態	サービス形態	媒体	対象者	平常時	注意・警報	混乱期(人命救助) 応急対応
	イベント			固定資産の管理、地域情報の収集、リスクの分析、防災危機対策計画の立案 地域コミュニティの連携、防災災害訓練の実施		災害問合せ対応支援 状況把握・情報収集
情報提供・共有	地図ベースの情報収集・共有	Web上	住民	地域の安全情報の集約・共有 避難場所等の情報提供		災害後の情報
	GIS活用による防災計画・運用管理サービス	Web上	職員	避難計画の立案、避難所配置の検討、備蓄物資シミュレーション等、総合的防災計画を立案するとともに、複数部署間で情報共有を行う。		避難所の新設 救援物資の集約
	情報伝達サービス	Web上	職員・住民問わず	安全情報特に指定なし(データの蓄積)		情報の提示、Web上のミーティング
	3D表示による災害情報マッピングサービス	Web上	職員・住民問わず	3Dによる災害対策マップ 危険予想地域、広域避難場所、施設の3D形状確認 ビューア機能(3D空間移動)・走行・フライトシミュレーション		災害発生予想状況マップ(道路災害) 情報分析
	防災情報提供サービス(ポータルサイト)	Web上	職員・住民問わず	施設情報他情報の入力 施設情報、防犯情報の集積		防災情報の掲載 自治体の広報機能
	携帯写真を活用した防災情報集信サービス	携帯端末	職員利用	危険箇所の把握(現場写真の収集・整理) 携帯電話による操作		被災状況の把握(現場写真の収集) 地図表示・携帯電話による操作
	緊急地震速報サービス	Web上	職員利用		発生後地震到達前の緊急情報の初動対応表示	緊急災害情報
	緊急地震速報サービス		職員利用		発生後地震到達前の緊急情報の初動対応表示	初動対応
	メール・携帯による職員召集・安否確認サービス	メール、携帯	職員利用	職員情報の入力	職員の参集・安否確認 随時関係市街への防犯情報通知など	安否確認・参集メール発信
	携帯等の活用した緊急通報サービス	携帯メール Web上	職員利用		職員の参集・安否確認 随時関係市街への防犯情報通知など	初動対応
	携帯メールによる災害情報提供サービス	携帯メール	職員携帯利用		メールを活用した気象情報(地震、天気、津波、台風)による職員の参集情報、安否確認。	初動対応
	指令情報発信サービス(各防災システムとの連携)	IPネットワーク	指定の機関		各種情報を宛名局に一斉配信 住民への発令システムと連動	初動対応
	緊急医療情報提供サービス(患者情報他)	Web上	職員・住民問わず	医療機関等災害時情報の入力		患者の搬送・現在位置の登録 -外医療
	帰宅支援のためのルートマップ表示サービス	Web上	職員利用	職員の登庁・帰宅ルートの事前確認 多様な危険度表示 支援施設表示		情報照会 帰宅支援
	携帯写真を活用した情報集約サービス	携帯メール Web上	住民・職員・ボランティア	都市施設の維持管理のためのパトロール時の記録。		携帯電話で写真を撮影し、メール 約し情報共有
	災害情報提供サービス(ポータルサイト)	Web上	職員・住民問わず	災害発生対象の入力		災害情報の収集・共有 関係機関との情報の共有
	ボランティア等によるGIS被災情報収集サービス	Web上	住民・職員・国民全般			被災地では対応できない、被災状況 組織でバックアップする。
	携帯電話を活用した被災情報配信サービス	携帯電話	職員・住民問わず			収集した被災情報を携帯端末に、
高性能ヘリによる画像転送による情報提供サービス	ヘリテレ 可搬型撮影 機材他	職員・住民問わず			ヘリコプターに搭載したカメラの映像 、害状況等の把握を行う 高性能ヘリテレシステムの搭載が を向上させる	
ボランティア活動支援(ポータルサイト)		職員・住民問わず	必要業務の入力準備		支援要請内容の掲載準備 避難所運営対応	
施設管理	避難所運営サービス(ポータルサイト)		職員利用	施設情報等の入力		開設管理運営機能 被害者情報の把握・避難所管理機 地上波を利用せず、パトロール
インフラ環境の確保	ヘリからの衛星通信接続サービス	衛星通信	職員・住民問わず			災害発生時の通信確保
	可搬型映像・音声・通信伝送環境	可搬型通信 端末	職員利用			現地災害本部機能(通信環境確保) 初動・応急対応(モバイル映像の中)
	可搬型衛星通信環境	可搬型衛星 通信端末	職員利用			現地災害本部機能(衛星を利用し) 初動・応急対応(モバイル映像の中)

# スケジュール

			2006/02	2006/03	2006/04	2006/05	2006/06	2006/07	2006/08	2006/09	2006/10	2006/11	2006/12	以降
東京都 災害時情報基盤協議会	研究会	予定												
		実績												
ASPIC 災害時CT研究会	ASPIC会員向け説明会	予定												
		実績												
	会員提案募集要項説明	予定												
		実績												
	研究会	予定												
		実績												
	報告書 作成 作業	各社提案内容の整理	予定											
			実績											
		マトリックス図の作成	予定											
			実績											
		全体コンセプト図の作成	予定											
			実績											
		中間報告目次案作成	予定											
			実績											
各社作業分担案作成		予定												
		実績												
各社作業		予定												
		実績												
中間報告書作成	予定													
	実績													
最終報告レポート作成	予定													
	実績													
雑誌等投稿	予定													
	実績													
シンポジウム	予定													
	実績													

目次案で示した中間報告書作成に向け現在整理中、今後12月ごろよりシンポジウム  
開催予定(関東地区)

# 研究会メンバー

本研究会は、以下の方々にご協力をいただきながら作業を実施しております。

NO	会社名	氏名
1	内閣府(講師)	青木 栄治 様
2	講師(国立大学法人電気通信大学)	田中 健二 様
3	株式会社NTTデータ経営研究所	小田島 芳 様
4	NECネクサソリューションズ株式会社	中嶋 信彰 様
5	サン・マイクロシステムズ株式会社	橋本 雅彦 様
6	沖縄電力株式会社	上原 秀樹 様
7		陳 世哲 様
8	富士通株式会社	岩崎 孝一 様
9		梁田 智仁 様
10		松本 大輔 様
11		小見山 浩一 様
12	株式会社プライブ・シェルター	加藤 久男 様
13	カテナ株式会社	奥田 隆司 様
14		石渡 章 様
15	株式会社大阪エクセレントIDC	岩下 安男 様
16	株式会社パスコ	大橋 直人 様
17	株式会社駅前探険倶楽部	福岡 真澄 様
18		唐崎 幸弘 様

NO	会社名	氏名
19	IDCソフトウェアエンジニアリング株式会社	石井 嘉明 様
20	三菱電機株式会社	永井 孝幸 様
21	ウェブエックス・コミュニケーションズ・ジャパン株式会社	甲斐 真佐美 様
22	株式会社フォーラムエイト	宮本 卓也 様
23	旭化成株式会社	河野 通裕 様
24	株式会社セールスフォース・ドッドコム	山本 哲也 様
25	富士通エフ・アイ・ピー株式会社	日暮 一正 様
26	ASPIC常務理事	津田 邦和 様
27	ASPIC執行役員	長倉 勉 様
28	ASPIC役員	小林 剛 様
29	ASPIC役員	花岡 孝義 様